



# 保育所だより



令和3年11月号

中部保育所

TEL.63-3221 090-5693-1233

朝晩の冷え込みや、木々のあざやかな色づきに、秋の深まりを感じる頃となりました。秋晴れの空の下、子どもたちは体操をしたり、異年齢混合でバトンリレーをしたりして、友だちと一緒に体を動かして遊んでいます。

また、保育所近くの公園や愛宕山へ散歩に出かけ、秋の草花を見たり虫を捕まえたりして身近な自然を感じたり、畑ではさつま芋の収穫をしたり、所庭でさんまを焼いて味わったりと秋を存分に楽しんでいます。

今月も引き続き秋の自然に親しみながら、散歩に出かけてしっかりと歩いたり、自然物を使ってごちそう作りや制作活動をしたり、各年齢に応じて保育をすすめていきたいと思ひます。

また、感染症が流行しやすい時期ですので、手洗い・うがいを習慣づけて予防に努めるとともに、体調がすぐれない時には無理をせず、早めの休息、治療をお願いします。

## 11月の予定

- 1日(月)～5日(金) 身体測定週
- 2日(火) あいさつ運動
- 3日(水) 文化の日【祝日：休所】
- 4日(木) 弁当の日 クッキング：(ぱんだ・きりん組)
- 8日(月) 保育所開放日
- 9日(火) やきいも会
- 12日(金) ひもおとし会・誕生会
- 15日(月)～24日(水) 4歳児面談
- 16日(火) 離乳食実習会③(13:30～)
- 17日(水) ◆一日保育士⑦
- 18日(木) バースディプロジェクト(きりん組)
- 19日(金) 防火指導・避難訓練
- 22日(月) 集金日
- 23日(火) 勤労感謝の日【祝日：休所】
- 26日(金) クッキング：スイートポテト(うさぎ・ぱんだ・きりん組)
- 〃 布団持ち帰り日



## 12月の主な予定

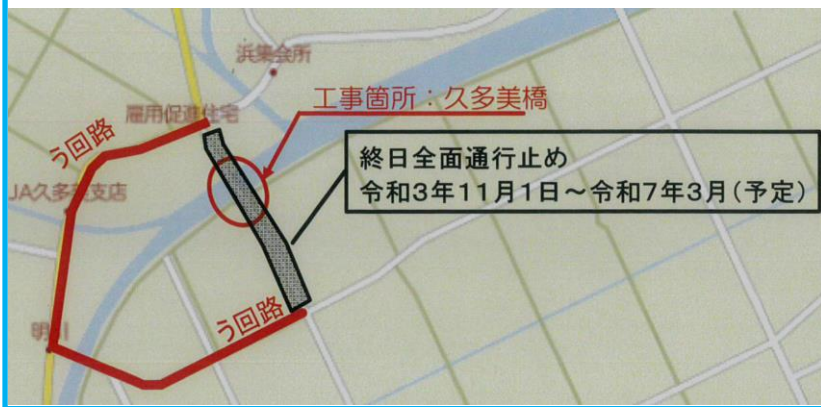
- 11日(土) ◆発表会
  - 14日(火) ふれあいデー：もちつき会
  - 17日(金) 一日保育士⑧
  - 30日(木)～1/4(火) 年末年始休所
- ◆のついている行事につきましては、後日お便りで詳しくお知らせします。

## 中筋浜線橋梁上部工撤去工事のお知らせ

下記の日程で、中筋浜線橋梁上部工撤去工事が実施されます。本工事では、平田船川に架かる久多美橋の架け替え工事に伴い、令和7年3月末まで終日全面通行止めとなります。

登降所に久多美橋を通過していらっしゃった方は、今後、う回路を利用していただくこととなりますので、ご協力をお願いいたします。

交通規制：終日全面通行止め



## 令和4年度保育所入所受付について

来年度新たに入所を希望されるお子さんの入所申込受付が11月17日(水)から開始されます。該当の方は手続きが必要です。詳しくは、広報いずも(11月号)、出雲市役所ホームページ、平田保育会ホームページに掲載されていますのでご覧ください。

## 保育目標～〇秋の自然に触れて遊ぼう。

木の実や秋の草花、落ち葉など秋の自然物を使った遊びを取り入れたり、空の色や雲の様子を見たり、風の冷たさを感じたりしながら秋の自然に興味や関心が持てるようにしていきます。

## 〇表現あそびを楽しもう。

生活や遊びの中で経験したことや、絵本からイメージを膨らませたことをもとにごっこ遊びをしたり、歌・楽器遊びなどで表現する楽しさを感じたりできるようにしたいと思います。

## 生活目標～〇手洗い・うがいを丁寧にしよう。

外から帰った後や食事の前に、手洗い・うがいをします。手洗いやうがいの仕方や大切さを看護師がわかりやすく伝えたり、保育士も一緒にしながら丁寧に知らせたりしていきます。小さいクラスでは、保育士と一緒にいながら、「ぴかぴかになったね。」「ばいきんさんいなくなったね。」など、子どもたちにわかりやすく話し、毎日の繰り返しで身につくようにします。

ご家庭でも親子で行い、感染症予防に努めましょう。



きりん・ぱんだ・うさぎ組：遠足の様子(一の谷公園)



うさぎ組：所外保育(出雲空港公園)

ことり組：落ち葉あそび

ひよこ組：ひなたぼっこ

## ☆子育てのヒント

### 非認知能力を育てる 0歳～5歳児のあと伸びする力を高める

昨今、メディアなどでも大きな話題を集めている「非認知能力」という言葉があります。非認知能力とは、読み・書き・計算のように数値ではかることのできる学力などとは違った、心や社会性に関する力のことです。現在、さかんにこの非認知能力の重要性を示す研究結果が出始めており、その研究によれば、非認知能力を身に付けたことは、すぐに表れるのではなく、少しあとになって見えてくるそうです。そのため、「あと伸びする力」などとも呼ばれています。

#### 「非認知能力を育てる」子育てで大切な6つのこと

- ① 親子のスキンシップや甘えなどを通して、心の安心基盤を作る。
- ② 子どもの個性(その子らしさ)や主体性(自己決定)を大切にする。
- ③ 子どものがんばっている姿をほめ、小さな成功体験を大切にするなど、自己調整力を育てる。
- ④ 多様なあそび体験を通して、好奇心を持ったり、夢中になる経験をする。
- ⑤ 外あそびを通して、多様からだを動かしたり、自然にふれたりする経験をする。
- ⑥ 絵本の読み聞かせを通して、コミュニケーションや言葉への興味を大切にする。

「非認知能力を育てる あそびのレシピ 0歳～5歳児のあと伸びする力を高める」  
講談社・著者：大豆生田 啓友(一部抜粋)

乳幼児期は、遊びや生活を通して、幼児の意欲や態度、生活習慣など、「生きる力」の土台を育む大切な時期です。私たちまわりの大人がかかわり方を考えていきましょう。

## 職員研修のお知らせ

- ▽午前・△午後からの研修
- 4日△所長研修会(配信)～黒目
- 6日 人権同和教育基礎講座～錦織
- 11日△歯科保健従事者研修(配信)～田原
- 24日 中堅スキルアップ研修Ⅱ～大塚

